

令和6年度

生活情報科 3学年

シラバス

(授業計画)



Kagoshima prefectural YAMAGAWA High School

鹿児島県立山川高等学校

普通・専門	入学年度			令和4年度入学						備考		
	学 年			1年	2年		3年		計			
	教科	科 目	標準 単位	共通	ビジネス 情報 コース	ライフ デザイン コース	ビジネス 情報 コース	ライフ デザイン コース	ビジネス 情報 コース		ライフ デザイン コース	
各学科に共通する各教科・科目	国語	現代の国語	◎2		2	2	2	2	4	4		
		言語文化	◎2	3					3	3		
	地理 歴史	地理総合	◎2		2	2			2	2		
		歴史総合	◎2					3	3	3	3	
	公民	公 共	◎2	3					3	3		
	数学	数 学 I	◎3	3	2	2			5	5		
		数 学 A	2					3	3	3	3	
	理科	物 理 基 礎	◎2					2	2	2	2	
		化 学 基 礎	◎2		2	2			2	2		
		生 物 基 礎	◎2	2					2	2		
	保健 体育	体 育	◎7~8	3	3	3	2	2	8	8		
		保 健	◎2	1	1	1			2	2		
	芸術	音 楽 I	○2	②					0,2	0,2		
		美 術 I	○2	②					0,2	0,2		
		書 道 I	○2	②					0,2	0,2		
	外国語	英語コミュニケーションI	◎3	2	3	3			5	5		
		英語コミュニケーションII	4					3	3	3	3	
	家庭 情報	家 庭 総 合	◎4	4					4	4		
		情 報 I	2									「情報処理」により代替
		科目単位数計			23	15	15	15	15	53	53	
主として専門学科において開設される各教科・科目	商業	ビジネス基礎	◇2~4	2					2	2		
		課題研究	◎2~4					4	4			
		ビジネス・コミュニケーション	2~4					2	2	2	2	
		商品開発と流通	2~4		4	4			4	4		
		ビジネス・マネジメント	2~4					4	4			
		簿 記	2~4		4				4			
		情報処理	◎2~4	2	2	2			4	4		
		ソフトウェア活用	2~4					2	2			
	家庭	課題研究	◎2~4						4	4		
		保育基礎	2~6		2	2			2	2		
		保育実践	2~8					2		2		
		ファッション造形基礎	2~6			4				4		
		ファッション造形	4~10						4	4		
		フードデザイン	2~6	2	2	2	2	2	6	6		
	科目単位数計			6	14	14	14	14	34	34		
	総合的な探究の時間	3~6									「課題研究」により代替	
	合 計			29	29	29	29	29	87	87		
特別活動	ホームルーム活動			1	1	1	1	1	3	3		
	週あたりの総時数			30	30	30	30	30	90	90		

※ ②は選択履修

令和6年度 全科共通【シラバス】

教科	国語科	科目	現代の国語	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	新編現代の国語						
副教材等	常用漢字ダブルクリア(尚文出版), テスト式 国語常識の総演習(京都書房)						

1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

- ・ 授業では、学習内容をノートに記入したり、資料プリントを利用して理解を深めたりします。しっかり聞いて、考えて、自分の考えを發表しましょう。また、配付されたものは整理して綴っておきましょう。
- ・ 授業中に分からないことがあれば、遠慮なく質問しましょう。
- ・ 朗読や發表をするときには、できるだけ大きな声ではっきりと行いましょう。
- ・ 復習をしっかり行うことで学習内容が身についていきます。

2 学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
評価方法	定期考査, 課題考査等	提出物, 授業ノート, 発言等	授業態度, 発言, 出席状況等

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	内容	単元(題材)	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
				a	b	c		
1学期	現代文	評論 随想 随想	スキマが育む都市の緑と生命のつながり	○	○	○	a:言葉の認識や思考を支える働きを理解している b:「読むこと」について要旨や要点を把握している 「話すこと・聞くこと」において伝え合う内容を検討している c:自分の考えをまとめ、話し合おうとしている	考査成績 提出物 発言等
			鍋洗いの日々	○	○	○		
			真夏のひしこ漁	○	○	○		
2学期	現代文	話す・聞く 書く	発想を広げる方法を使って話し合おう	○	○	○	a:言葉の認識や思考を支える働きを理解している b:「読むこと」について要旨や要点を把握している 「話すこと・聞くこと」において伝え合う内容を検討している c:自分の考えをまとめ、話し合おうとしている	考査成績 提出物 発言等
			新聞記事を読んで意見文を書こう	○	○	○		
3学期	現代文	評論	美しさの発見	○	○	○	a:言葉の認識や思考を支える働きを理解している b:「読むこと」について要旨や要点を把握している 「話すこと・聞くこと」において伝え合う内容を検討している c:自分の考えをまとめ、話し合おうとしている	考査成績 提出物 発言等

令和6年度 全科共通【シラバス】

教科	地理歴史科	科目	歴史総合	単位数	3単位	年次	3年次
使用教科書	81 山川 歴総 709 わたしたちの歴史 日本から世界へ(山川出版社)						
副教材等	授業で配布するプリント 等						

1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎時間、教科書・ノートを準備。 ・ 教師の話聞きながら必要に応じてメモを取りましょう。 ・ 社会的事象に関して友達と話し合う時間や意見をまとめる時間もありますので、積極的に発言をしましょう。

2 学習の到達目標(学習指導要領 提示)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質や能力を養う。
--

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歴史に関する資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身に付けている。 ・ それぞれの国や時代の歴史的な事柄を基に、各国の政治体制やその変容などについて理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歴史的な事柄に対して、その背景や原因、結果や影響などに着目し、他国や他の地域と比較したり相互に関連付けたりするなどして主題について多面的多角的に考察し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歴史的な事柄について、主体的に追究、解決しようとするとともに、我が国の国土への愛情をもち、世界の多様な文化を尊重しようとしている。 ・ 自己の学習状況を客観的に振り返り、記録を残そうとしている。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各テスト ・ ロイロノート 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各テスト ・ パフォーマンス課題 	<ul style="list-style-type: none"> ・ リフレクションシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動(単元の評価規準cについては、上記 学習評価に記載のとおり)

学期	内容	単元(題材)	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
				a	b	c		
1学期	近代化と私たち	<ul style="list-style-type: none"> ・ 近代化への問い ・ 結びつく世界と日本の開国 ・ 国民国家と明治維新 	産業革命 アヘン戦争	○	○	○	a: 18世紀のアジアや日本における生産と流通、アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易などを基に理解している。 b: 国民国家の形成の背景や影響などに着目し主題を設定し、アジア諸国とその他の地域の動向を比較したり関連付けたりし、政治変革の特徴や社会の変容などを多面的多角的に考察し表現している。	各テスト パフォーマンス課題 リフレクションシート
			日本の開国 開国後の日本	○	○	○		
			市民革命 明治維新 大日本帝国憲法	○	○	○		
2学期	国際秩序の変化や大衆化と私たち	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国際秩序の変化や大衆化への問い ・ WWIと大衆社会 ・ 経済危機とWWII 	第一次世界大戦 ロシア革命 社会運動	○	○	○	a: 大衆の政治参加と女性の地位向上、大正デモクラシーと政党政治、大量消費社会と大衆文化、教育の普及とマスメディアの発達などを基に大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解する。 b: 経済危機の背景と影響、国際秩序や政治体制の変化などに着目し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり相互に関連付けたりするなどして各国の世界恐慌への対応への特徴などを多面的多角的に考察し表現している。	各テスト パフォーマンス課題 リフレクションシート
			世界恐慌 第二次世界大戦	○	○	○		
			戦後国際秩序 冷戦のはじまり	○	○	○		
3学期	グローバル化と私たち	<ul style="list-style-type: none"> ・ グローバル化への問い ・ 冷戦と世界経済 ・ 世界秩序の変容と日本 	第三世界 冷戦の展開	○	○	○	a: 西ヨーロッパや東南アジアの地域連携、計画経済と波及、日本の高度経済成長などを基に世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会を理解すること。 b: 冷戦が各国経済に及ぼした影響、地域連携の背景と影響、日本の高度経済成長の背景と影響などに着目し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、冷戦下の世界経済や地域連携の特徴や社会の変容などを考察し表現している。	各テスト パフォーマンス課題 リフレクションシート
			55年体制 高度経済成長	○	○	○		
			冷戦の終結 日本の終結	○	○	○		

令和6年度 全科共通【シラバス】

教科	数学科	科目	数学 A	単位数	3単位	年次	3年次
使用教科書	数 A708「高校数学 A」(実教出版)						
副教材等	高校数学 A スタディノート(実教出版)						

1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

<ul style="list-style-type: none"> ・授業では教科書・スタディノートをベースに進める。必要に応じて、ノートを準備すること。 ・評価は定期考査・長期休暇明けの課題考査・授業態度・提出物等をもとに行う。 ・提出物は締切を厳守すること。

2 学習の到達目標

場合の数と確率	数の規則性を踏まえて効率的かつ過不足なくものを数え、それを基に確率を求めることができる。求めた確率を使って結果の予測をできるようになる。
図形の性質	平面図形や空間図形の性質についての理解を深め、それらを事象の考察に活用できるようにする。
数学と人間の活動	数の歴史や図形と人間の関わりについて理解を深め、整数や図形について、小中学校で断片的に扱ってきた内容を系統的に学び理解を深め活用できるようになる。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	基本的な概念や原理・法則などを体系的に理解し、数学的な表現・処理する技能を身につけている。	基本的な法則を活用して事象を論理的に考察し、数学的な表現を用いて表現することができる。	数学の論理や体系に関心をもち、事象を数学的論拠に基づいて判断しようとする。また、数学のよさを認識し、活用しようとする。
評価方法	・定期考査・課題考査 ・小テスト など	・定期考査・小テスト ・授業態度 など	・授業態度・出席状況 ・提出物 など

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめる。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。

4 学習の活動

学期	内容	単元(題材)	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
				a	b	c		
1学期	場合の数と確率	場合の数 確率	集合	○		○	a:集合や P,C を用いて、場合の数や確率を求めることができる。 b:事象に応じて、反復試行の確率や条件付き確率を求めることができる。 c:身近な事象の確率を、数学的に考察しようとする。	定期考査 課題考査 小テスト 授業態度 提出物
			順列・組み合わせ	○	○	○		
			確率	○	○	○		
2学期	図形の性質	三角形の性質	三角形の性質	○	○	○	a:三角形の性質や円の性質を理解し、線分の長さや角の大きさを求めることができる。 b:三角形の内接円や外接円、円の接線などの性質を用いて、線分の長さや角の大きさを求めることができる。 c:身近な事象を図形を用いて、数学的に考察しようとする。	定期考査 課題考査 小テスト 授業態度 提出物
		円の性質	円の性質	○	○	○		
		作図	作図	○	○	○		
		空間図形	空間図形	○	○	○		
3学期	数学と人間の活動	数と人間 図形と人間	2進法	○		○	a:2進法や公約数、公倍数、相似について理解し、求めることができる。 b:ユークリッドの互除法や相似を使った測定について考察でき、それらを利用し、値を求めることができる。 c:身近な事象を用いて、数学的に考察しようとする。	定期考査 小テスト 授業態度 提出物
			整数の性質	○	○	○		
			相似と測定	○	○	○		

令和6年度 全科共通【シラバス】

教科	理科	科目	物理基礎	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	高等学校 新物理基礎 (第一学習社 物基710)						
副教材等	授業用ノート						

1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

授業では、授業用ノートで基本的な内容をまとめる。
 評価は、定期考査、授業態度、提出物、小テスト等でおこなう。
 定期考査の誤りは、訂正プリントに整理・訂正する。

2 学習の到達目標

- (1) 物体の運動とエネルギーについて、考え方や表し方に関する理解を深める。
- (2) エネルギー利用に関する技術や問題点について理解を深める。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	日常生活との関連を図りながら物理現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探求するために必要な観察、実験などに関する操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	物理現象やその利用技術から問題を見だし、見通しをもって観察、実験、調査などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探求している。	物理現象や科学技術に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探求しようとする態度をもっている。
評価方法	定期考査 小テスト	授業用ノートの記述 授業態度	レポート作成 春・夏・冬休み課題

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	内容	単元(題材)	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
				a	b	c		
1 学期	運動とエネルギー	物体の運動	物理量, 速さ	○	○	○	a: 物体の運動とエネルギーについて理解している。 b: 生活と関連付けて観察, 実験等を行い, 科学的に考察し表現している。 c: 物体の運動を生活と関連付け, 理解しようとしている。	定期考査 小テスト 授業態度 提出物
			等速直線運動	○	○			
			等加速度直線運動, 重力加速度	○	○			
2 学期	運動とエネルギー	力と運動の法則 仕事と力学的エネルギー	力	○	○	○	a: 力や物体の運動, 力学的エネルギーについて理解している。 b: 生活と関連付けて観察, 実験等を行い, 科学的に考察し表現している。 c: 力や運動の法則を生活と関連付け, 理解しようとしている。	定期考査 小テスト 授業態度 提出物
			運動の法則	○	○	○		
			力学的エネルギー	○	○			
3 学期	電気	電荷と電流 電流と磁場 エネルギーとその利用	電荷と電流	○	○		a: 電気について理解している。 b: 生活と関連付けて観察, 実験等を行い, 科学的に考察し表現している。 c: 持続可能なエネルギー利用について理解しようとしている。	定期考査 小テスト 授業態度 提出物
			電流と磁場	○	○			
			エネルギーとその利用	○		○		

令和6年度 全科共通【シラバス】

教科	保健体育	科目	体育	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	現代高等保健体育						
副教材等	現代高等保健体育ノート, ステップアップ高校スポーツ2022						

1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

<ul style="list-style-type: none"> ・体育服, 靴下, シューズの忘れ物がないように準備をしましょう。 ・自主的に活動に取り組み, 運動習慣を確立させましょう。 ・課題を解決するための話し合いに自主的に関わり, 発言をしましょう。

2 学習の到達目標

<p>(1) 運動の合理的, 計画的な実践を通して, 運動の楽しさや喜びを深く味わい, 生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため, 運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに, それらの技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し, 合理的, 計画的な解決に向けて思考し判断するとともに, 自己や仲間の考えことを他者に伝える力を養う。</p> <p>(3) 運動における競争や協働の経験を通して, 公正に取り組む, 互いに協力する, 自己の責任を果たす, 参画する, 一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに, 健康・安全を確保して, 生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。</p>

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	運動の合理的, 計画的な実践を通して, 運動の楽しさや喜びを深く味わい, 生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため, 運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに, それらの技能を身に付けている。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し, 合理的, 計画的な解決に向けて思考し判断するとともに, 自己や仲間の考えことを他者に伝えている。	生涯にわたって継続して運動に親しむために, 運動における競争や協働の経験を通して, 公正に取り組む, 互いに協力する, 自己の責任を果たす, 参画する, 一人一人の違いを大切にしようとするとともに, 健康・安全を確保している。
評価方法	筆記テスト, 実技テスト	観察, ワークシート	観察, ワークシート
上に示す観点に基づいて, 学習のまとめりにごとに評価し, 学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて, それぞれの観点を適切に配分し, 評価します。			

4 学習の活動

学期	内容	単元(題材)	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
				a	b	c		
1学期		・体づくり運動 ・体育理論 ・球技	体づくり運動	○			a: 運動の合理的, 計画的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに継続するための理論について理解しているとともに, 目的に応じた技能を身につけている。 b: 自己や仲間の課題を発見し, 合理的, 計画的な解決に向けて, 課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに, それらを他者に伝えている。 c: 一人一人の違いを大切にするとともに主体的に合意形成に貢献しようとしている。	筆記テスト 実技テスト ワークシート 観察
			体ほぐしの運動		○	○		
			体育理論		○	○		
			バレーボール バドミントン 卓球	○	○	○		
2学期	体育	・球技 ・武道 ・陸上競技 ・ダンス ・体育理論	体育理論	○	○			
			サッカー					
			ソフトボール バスケットボール 剣道	○	○	○		
			短距離 リレー フォークダンス	○	○	○		
3学期		・陸上競技 ・ダンス ・体育理論	体育理論	○	○			
			長距離走 フォークダンス	○	○	○		

令和6年度 全科共通【シラバス】

教科	外国語科	科目	英語 コミュニケーションⅡ	単位数	3単位	年次	3年次
使用教科書	All aboard! English Communication Ⅱ						
副教材等	英作基本文例600【第6版】						

1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

- ・毎回ノートに予習をして授業を受けてください。
- ・授業時に配付されるテスト対策プリントや参考プリントをファイルに綴じておいてください。
- ・定期考査や課題考査で間違えた箇所は毎回ノートに訂正してもらいます。

2 学習の到達目標

- (1) 日常のもしくは社会的な話題について、聞いたことや読んだことから必要な情報をくみ取り、その情報や考え、気持ちなどを論理的に英語で話したり書いたりして伝えるための能力を身につける。
- (2) 積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身につける。
- (3) 実用英語技能検定(英検)の準2級程度の英語力を身につける。(CEFR A2)

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて十分理解を深めるとともに、その知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、様々な目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して論理的に表現したり伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮し、また主体的、自律的に概要や要点、詳細を整理して、外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
評価方法	・定期考査・課題考査 ・パフォーマンステスト	・定期考査・課題考査 ・パフォーマンステスト	・授業態度(授業時の発言や発表等) ・出席状況・課題考査 ・訂正や宿題等の提出物 ・パフォーマンステスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにあわせて評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	内容	単元(題材)	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
				a	b	c		
1学期	関係代名詞・比較表現・itの用法・間接疑問文	Lesson 1 A Colorful Island	イタリアのブラーノ島への旅行を報告する SNS を通して、その島の特色を理解する。	○	○	○	a: 音声、語彙、表現、文法(関係代名詞、比較表現、it の用法、間接疑問文)、言語の働きを十分理解し、適切に活用する技能を身につけている。 b: 日常のもしくは社会的な話題を読み聞きし、その内容を的確に理解している。また、それをもとに適切に、また論理的に表現したり、伝え合ったりしている。 c: 授業態度、出席状況、提出物が良好である。また、ある絵や表の指示に従って、インタビューをし、その意見を概要や要点、詳細を整理して英文でまとめることができる。	定期考査 課題考査 授業態度 出席状況 提出物 パフォーマンステスト
		Lesson 2 With the Beatles	曲をリクエストしたラジオ番組の聴取者とディスクジョッキーの対話を通して、世代を超えて人気のあるバンドについて概要を捉える					
		Lesson 3 Wild Men	ヨーロッパの国々の祭りに登場する「ワイルドマン」についてのスピーチを通して、人間社会と自然について考える。					
		Lesson 4 Little Hero	世界最小の鳥であるハチドリを紹介する記事とハチドリのお話を通して、不断の努力と不屈の心について考える。					
2学期	to不定詞表現・目的語のif節・関係副詞where when・知覚動詞	Lesson 5 Special Makeup in Kabuki	日本の伝統文化である歌舞伎と隈取について理解する。	○	○	○	a: 音声、語彙、表現、文法(to 不定詞、目的語の if 節、関係副詞、知覚動詞)、言語の働きを十分理解し、適切に活用する技能を身につけている。 b: 日常のもしくは社会的な話題を読み聞きし、その内容を的確に理解している。また、それをもとに適切に、また論理的に表現したり、伝え合ったりしている。 c: 授業態度、出席状況、提出物が良好である。また、ある絵や表の指示に従って、インタビューやリサーチをし、その意見を概要や要点、詳細を整理して英文でまとめることができる。	定期考査 課題考査 授業態度 出席状況 提出物 パフォーマンステスト
		Lesson 6 Seeds for Future Generations	海外の高校生に向けた、伝統野菜についてのグループ発表を通して、伝統の継続について考える。					
		Lesson 7 Over the Wall	世界中で壁画を描く活動についての話を通して、世界の人々と交流する方法について概要を捉える。					
		Lesson 8 Inspiration from Nature	生物模倣についてのオンライン講演の授業を通して、自然界のデザインをヒントに開発された製品について理解する。					
3学期	使役動詞・分詞構文	Lesson 9 The Bitter Truth behind Chocolate	チョコレートをめぐる現実を取り上げた雑誌記事を通して、カカオ農園の実態と児童労働及びその解決策について理解する。	○	○	○	a: 音声、語彙、表現、文法(使役動詞、分詞構文)、言語の働きを十分理解し、適切に活用する技能を身につけている。 b: 日常のもしくは社会的な話題を読み聞きし、その内容を的確に理解している。また、それをもとに適切に、また論理的に表現したり、伝え合ったりしている。 c: 授業態度、出席状況、提出物が良好である。また、ある絵や表の指示に従って、インタビューをし、その意見を概要や要点、詳細を整理して英文でまとめることができる。	定期考査 課題考査 授業態度 出席状況 提出物 パフォーマンステスト
		Lesson 10 Fighting Angel	医療と看護の発展に一生を捧げたナイチンゲールの生涯について理解する。					

令和6年度 生活情報科【シラバス】

教科	商業	科目	課題研究	単位数	4単位	年次	3年次
使用教科書	使用教科書 なし ※自ら設定したプロジェクトでは、これまで使用した教科書を参考程度に使用する。						
副教材等	なし						

1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 調査・研究において、チームとして取り組む場合、意見や考えを出し合い、お互いの考えを尊重するとともに、調整などを図りましょう。 ・ 調査・研究は、自ら設定した課題を克服する意味や意義の理解に努めましょう。 ・ 発表や対象の相手に伝えることを前提に、記録や考察、分析などを適宜行いましょう。 ・ 課題研究発表会で使用することを前提に、資料や記録としての写真、動画も積極的に収集しましょう。

2 学習の到達目標

商業に関する課題(山川高校の活性化を含む)を設定し、その課題の解決を図る学習を通して、専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を育てる。
--

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	自ら設定した課題の必要性について理解し、将来へ活かす工夫し、問題解決に必要な情報を収集・加工・活用するための技能を身につけている。	主体的に分析・判断して、課題を追求し体系的にまとめ、その成果を創意工夫して表現できる。	課題に関心を持ち、心構えや学習方法を自ら工夫して取り組む意欲的、計画的な態度がある。
評価方法	レポートの内容 研究状況、調査・記録、レポート、発表	研究状況、レポート 中間報告、まとめ 最終研究発表、プレゼンテーション	学習、研究状況、 出席状況、調査・記録

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	題材等	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c		
1学期	テーマ設定	計画の作成 計画発表会 調査・研究		○	○	a:学校PRおよび地域活性化に関する課題について理解しているとともに、関連する技術を身につけている。 b:学校PRおよび地域活性化に関する課題を発見し、科学的根拠に基づいて創造的に解決している。 c:学校PRおよび地域活性化が人間生活や社会との関わりについて自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。 【調査・研究・商品開発等】 ・学校PR用1分間CMの企画・制作	調査・研究状況(態度・技能) 出席状況 取組状況(服装・実習レポート) 準備・段取り
	結果のまとめ①	調査・研究・観察 レポート作成	○		○		
2学期	中間報告①	中間発表会 調査・研究	○	○		・ライフデザインコースの文化祭催し物「ファッションショー」の音楽編集・企画補助・運営に携わる。 ・学校行事(花野果フェや本土最南端西大山駅おもてなし等)の企画・運営とともにノベルティーの企画・制作(・学校PR用ハンカチタオルに取り組む。	調査・研究状況(態度・技能) 出席状況 取組状況(服装・実習レポート) 準備・段取り
	結果のまとめ②	調査・研究・観察 レポート作成	○		○		
3学期	中間報告②	中間発表会 調査・研究	○	○		取組状況(レポート) まとめ・プレゼンテーション作成状況	
	年間のまとめ	レポート作成 プレゼンテーション作成	○		○		
	全体発表	全体での発表会		○	○		

令和6年度 生活情報科【シラバス】

教科	商業	科目	ビジネス・コミュニケーション	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	ビジネス・コミュニケーション						
副教材等	ビジネス・コミュニケーション準拠問題集他						

1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

ビジネスの世界では、人と人とのつながりが大切です。社内・社外の人と良好な信頼関係を築き、コミュニケーションを図ることで、ビジネスを円滑に進めることができます。そのためにもこの教科を通じて、ビジネスマナーや、さまざまなビジネスの場面に応じたコミュニケーションの方法を身につけてほしいと思います。

授業を通じて、ビジネスに関する必要な知識を身につけるのはもちろんのこと、主体的・対話的で深い学びやロールプレイング等にも積極的に取り組んでいきましょう。

2 学習の到達目標

- ・企業の組織と意思決定や仕事に対する心がまえ、さまざまなビジネスマナーやコミュニケーションの方法について学び、必要な知識と技術を習得する。
- ・ビジネスマナーやコミュニケーションの意義や役割を理解するとともに、主体的に取り組み、さまざまな場面への対応力や課題を解決する能力を身につける。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	ビジネスマナーについて理解し、関連する技術を身につけている。	ビジネスマナーに関する課題を発見し解決する力を身につけている。	自ら学び、主体的・協働的に取り組む態度を身につけている。
評価方法	定期考査, 小テスト, 検定試験への取り組み等	定期考査, 論述, レポート, グループ討議, 発表, 諸課題等	学習に対する意欲や態度, 提出物への取り組み等

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	内容	単元(題材)	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
				a	b	c		
1 学期	1, 2 章	ビジネスとコミュニケーション, マナー	企業の組織と人間関係他	○	○		a: 単元への理解, 技術の習得 b: 課題を解決する力 c: 自ら学び, 主体的に学ぶ態度	定期考査, 諸課題, 提出物, 学習への取組等
			応対・ビジネスマナー他	○	○			
			交際・接客 マナー		○	○		
2 学期	3 章	ビジネスにおける思考の方法とコミュニケーション	コミュニケーションの役割他	○	○		a: 単元への理解, 技術の習得 b: 課題を解決する力 c: 自ら学び, 主体的に学ぶ態度	定期考査, 諸課題, 提出物, 学習への取組等
			ビジネスにおけるコミュニケーション他	○	○			
			ビジネススキル他		○	○		
3 学期	4 章	ビジネスと外国語	企業活動グローバル化他	○	○		a: 単元への理解, 技術の習得 b: 課題を解決する力 c: 自ら学び, 主体的に学ぶ態度	定期考査, 諸課題, 提出物, 学習への取組等
			ビジネスの会話他	○	○			
			プレゼンテーション他		○	○		

令和6年度 生活情報科【シラバス】

教科	商業	科目	ビジネス・マネジメント	単位数	4単位	年次	3年次
使用教科書	ビジネス・マネジメント						
副教材等	ビジネス・マネジメント準拠問題集, 簿記問題集他						

1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

1・2年次に複数の商業科目を通じてビジネスについて学んできましたが、これからは新しいビジネスの創造が、どのような社会においても必要とされます。「ビジネス・マネジメント」では、個人と社会を結びつける協働の場である組織に注目して、組織が新しいビジネスを生み出すこと(ビジネスの創造)を通じてどのように社会のニーズを充足し課題を解決するのかについて考え、これらに関する知識と能力について学びます。これまで学んできた簿記等も発展的に学習します。

2 学習の到達目標

- ・新たなビジネスを生み出すために必要な考え方や手順, 方法, 協働の場としての組織の組み立て方や運営の仕方を理解し, 必要な知識や技術を習得する。
- ・新たなビジネスの創造に必要な戦略と組織, ビジネスを取り巻く社会に関わる課題について主体的に取り組み, 課題を解決できる能力を身につける。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	ビジネスについて理解し, 関連する技術を身につけている。	ビジネスに関する課題を発見し解決する力を身につけている。	自ら学び, 主体的・協働的に取り組む態度を身につけている。
評価方法	定期考査, 小テスト, 検定試験への取り組み等	定期考査, 論述, レポート, グループ討議, 発表, 諸課題等	学習に対する意欲や態度, 提出物への取り組み等

上に示す観点に基づいて, 学習のまとまりごとに評価し, 学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて, それぞれの観点を適切に配分し, 評価します。

4 学習の活動

学期	内容	単元(題材)	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
				a	b	c		
1 学期	1章 2章	ビジネスの創造, ビジネスの組織化	ビジネスの創造と社会他	○	○		a: 単元への理解, 技術の習得 b: 課題を解決する力 c: 自ら学び, 主体的に学ぶ態度	定期考査, 諸課題, 提出物, 学習への取組等
			組織とマネジメント他	○	○			
			簿記検定など	○		○		
2 学期	3章 4章	経営資源のマネジメント, ビジネスの変革	財務的資源のマネジメント他	○	○		a: 単元への理解, 技術の習得 b: 課題を解決する力 c: 自ら学び, 主体的に学ぶ態度	定期考査, 諸課題, 提出物, 学習への取組等
			ビジネスの拡大他	○	○			
			確認問題, 実習		○	○		
3 学期	5章	ビジネスと社会	社会における企業他	○	○		a: 単元への理解, 技術の習得 b: 課題を解決する力 c: 自ら学び, 主体的に学ぶ態度	定期考査, 諸課題, 提出物, 学習への取組等
			企業への支援他	○	○			
			総合実習など		○	○		

令和6年度 生活情報科【シラバス】

教科	商業	科目	ソフトウェア活用	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	ソフトウェア活用						
副教材等	情報処理検定問題集, ビジネス文書検定問題集他						

1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

情報化が進展する現代のビジネス社会では、つねに ICT を活用した新しいサービスがうまれています。私たちがこのようなビジネス社会で活動するためには、ICT に関する知識や技術とともに、ビジネスのしくみや関連する法規の知識、また、これらの知識や技術を自らの問題解決に役立てようとする姿勢やモラル、マナーなどを身につけることが大切です。この授業で現代のビジネスの実例を通して、さらに一歩進んだ ICT に関する知識や技術力の向上を目指してほしいと思います。

2 学習の到達目標

- ・企業活動とさまざまなソフトウェア活用に関する情報を収集・処理・分析し、必要な知識と技術を習得する。
- ・ソフトウェア活用の意義や役割を理解するとともに、主体的に取り組み、さまざまな場面で活用し、課題を解決する能力を身につける。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	ソフトウェア活用について理解し、関連する技術を身につけている。	ソフトウェア活用に関する課題を発見し解決する力を身につけている。	自ら学び、主体的・協働的に取り組む態度を身につけている。
評価方法	定期考査, 小テスト, 検定試験への取り組み等	定期考査, 論述, レポート, グループ討議, 発表, 諸課題等	学習に対する意欲や態度, 提出物への取り組み等

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	内容	単元(題材)	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
				a	b	c		
1 学期	1,2 章	企業活動とソフトウェアの活用他	ソフトウェアの活用他	○	○		a: 単元への理解, 技術の習得 b: 課題を解決する力 c: 自ら学び, 主体的に学ぶ態度	定期考査, 諸課題, 提出物, 学習への取組等
			ネットワークの活用他	○	○			
			情報資産の保護	○		○		
2 学期	3,4 章	表計算ソフトウェアの活用他	情報の集計と分析	○	○		a: 単元への理解, 技術の習得 b: 課題を解決する力 c: 自ら学び, 主体的に学ぶ態度	定期考査, 諸課題, 提出物, 学習への取組等
			手続きの自動化	○	○			
			データベース		○	○		
3 学期	5,6 章	業務処理用ソフトウェアの活用	システム開発の基礎他	○	○		a: 単元への理解, 技術の習得 b: 課題を解決する力 c: 自ら学び, 主体的に学ぶ態度	定期考査, 諸課題, 提出物, 学習への取組等
			アルゴリズムの基礎	○	○			
			情報システムの開発演習		○	○		

令和6年度 生活情報科【シラバス】

教科	家庭	科目	課題研究	単位数	4単位	年次	3年次
使用教科書	ファッション造形基礎 ファッション造形 など						
副教材等	なし						

1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 2年次までに学んだ衣服製作の知識や技術を活かし、独自の創造的な被服製作に取り組む。 ・ 成果としてファッションショーで発表することを目標に計画的に物事をすすめる力をつける。 ・ ファッションショーや課題研究発表会において、自己表現力や、プレゼンテーション力を身につける。 ・ 製作過程において、試行錯誤しながら、自ら行動し問題解決を図る力をつける。 ・ ファッションショー企画は他者と意見を交わしながら、それぞれの役割を果たし、協働してすすめる。

2 学習の到達目標

家庭に関する課題を設定し、その課題の解決を図る学習を通して、専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を育てる。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	自ら設定した課題の必要性について理解し、将来へ活かす工夫し、問題解決に必要な情報を収集・加工・活用するための技能を身につけている。	主体的に分析・判断して、課題を追求し体系的にまとめ、その成果を創意工夫して表現できる。	課題に関心を持ち、心構えや学習方法を自ら工夫して取り組む意欲的、計画的な態度がある。
評価方法	作品 研究状況、レポート、発表	研究状況、レポート 中間報告、まとめ 最終研究発表、 プレゼンテーション	研究状況、 調査・記録 ファッションショー企画

上に示す観点に基づいて、学習のまとめごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	題材等	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c		
1学期	テーマ設定	計画の作成 計画発表会		○	○	a:被服製作の知識,技術について理解しているとともに、応用する技術を身に付けている。	製作状況 計画表
	創造的な衣服	製作 研究			○		準備,段取り
	中間報告①	レポート作成 作品提出 調査・研究	○	○			レポート 作品
2学期	中間報告②	装飾 作品完成	○	○		c:被服製作やファッションショー企画において自ら学び、主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	製作状況
		ファッションショー企画 ファッションショー レポート作成	○	○	○		グループディスカッション 発表作品 発表態度 レポート
3学期	年間のまとめ	プレゼンテーション作成	○		○		まとめ・プレゼンテーション作成状況
	全体発表	全体での発表会		○	○		発表態度

令和6年度 生活情報科【シラバス】

教科	家庭科	科目	保育実践	単位数	2単位	年次	3年次 (ライフ コース)
使用教科書	保育実践(実教出版)						
副教材等							

1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

<ul style="list-style-type: none"> ・2年次に学んだ保育基礎の基礎的な知識をさらに深め実践的な学習をします。 ・子どもの表現活動を促す具体的な技術を身につけます。 ・年10回の地域の乳幼児や保育園児との交流に向けて企画から実施までグループで行います。 ・自らが子どもになった気持ちで何事にも楽しんで取り組む姿勢が大切です。
--

2 学習の到達目標

家庭の生活に関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、保育を担う職業人として必要な資質・能力を育成する。
--

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に態度
観点の趣旨	子どもの表現活動や子育て支援について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につけている	保育や子育て支援に関する課題を発見し子どもを取り巻く環境の変化に対応した保育を担う職業人として、合理的活創造的に解決する力を身につけている。	保育の充実を目指して自ら学び、保育や子育て支援の実践に主体的かつ協働的に取り組んでいる
評価方法	実習作品 パフォーマンス評価 定期考査 保育検定3級程度	パフォーマンス評価 レポート 保育実践活動 企画書	保育実践活動 リフレクションシート レポート 課題提出
上に示す観点に基づいて、学習のまともにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4 学習の活動

学期	内容	単元(題材)	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
				a	b	c		
1 学期	子どもの表現活動と保育		造形表現活動	○			a:子どもの表現活動の意義と重要性を理解し、子どもの様々な表現活動を促す技術を身につけている b:子どもの様々な表現活動について課題を発見し、その解決に向けて考察し工夫できる c:子どもの表現活動と保育について自ら学び、保育や子育て支援の実際に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	考査 手作りおもちゃ 壁面製作 紙芝居 手遊び歌 レポート
			言語表現活動		○	○		
			音楽身体表現活動		○	○		
			情報手段などを活用した活動	○	○			
2 学期	子育て支援と保育		子ども・子育ての問題	○	○		a:現代社会における、子ども子育ての問題や、子育て支援について理解し、関連する情報を収集・整理することができる b:地域の様々な子育て支援について、課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫することができる。 c:子育て支援と保育について自ら学び、保育や子育て支援の実践に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	考査 レポート
			子育て支援のための各種施設	○				
			子育て支援		○	○		
年 間	保育の活動計画と実習		保育の活動計画	○		○	a:保育について体系的・系統的に理解するとともに、相互に関連づけられた技術を身につけている。 b:保育実習を通して課題を発見し、その解決に向けて考察工夫できること。 c:保育の活動計画と実習について自ら学び、保育や子育て支援の実践に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	保育企画書 リフレクションシート 実践活動
			保育実習		○	○		

令和6年度 生活情報科【シラバス】

教科	家庭科	科目	ファッション造形	単位数	4単位	年次	3年次
使用教科書	ファッション造形基礎【実教出版】 ファッション造形【実教出版】						
副教材等	家庭科問題集 被服編, 授業時に配布するプリント						

1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

<ul style="list-style-type: none"> ・授業では、授業態度、計画的に製作やファッションショー運営に取り組んでいるかという観点で知識・技能を評価します。計画と実施の記録を確実に行って下さい。 ・デザインや着用目的に適した被服材料を選択しているか、能動的創造的に製作しているかという観点で、思考・判断・表現を評価します。 ・製作した作品の技術やコーディネート、ショーの演出等の観点で、技能を評価します。 ・被服構成について、応用的に理解し、被服を適切に選択し管理する知識を身につけているか、ショーのつくり方を理解しているかという観点で評価します。

2 学習の到達目標

<ul style="list-style-type: none"> (1)デザインや着用目的に応じたファッション造形の基礎や技術を習得させる。 (2)ファッション製品を創造的に製作する能力と態度を育てる。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観念の趣旨	・被服製作に必要な知識と技術を習得しようとする意欲が見られるか。 ・実習とショーの運営に積極的に取り組んでいるか。	・実習の計画に従って能率的創造的に製作できるか。 ・デザインや着用目的に適した被服材料を選択することができるか。	・実習の計画に従って能率的創造的に製作できるか。 ・デザインや着用目的に適した被服材料を選択することができるか。
評価方法	・定期考査・実技試験	・定期考査・実習作品提出 ・ファッションショーの運営	・実習の計画表・課題提出 ・リフレクションシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにあわせて評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	内容	単元(題材)	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
				a	b	c		
1学期	ひとえ長着	和服の製作	和服製作の基礎	○		○	a:和服の種類やその製作技法について関心をもち、具体的な和服の製作・着用に意欲的に取り組む態度をもっている。 b:具体的な製作にあたり、着用目的・着用者の個性・季節などを考え、選択し、個人の相違・工夫を表現することができる。 c:和服の題材に応じた裁断、縫製、仕上げを行う技法を習得し、計画に従い能動的に製作を行うことができる能力を身につけている。	定期考査 実技試験 実習の計画表 提出物 リフレクションシート
			ひとえ長着の製作			○		
			作品の着装と管理		○	○		
2学期	ジャケット	ファッションショーの運営	洋服製作の基礎	○		○	a:洋服の種類やその製作技法について関心をもち、具体的な和服の製作・着用に意欲的に取り組む態度をもっている。 b:具体的な製作にあたり、着用目的・着用者の個性・季節などを考え、選択し、個人の相違・工夫を表現することができる。 c:洋服の題材に応じた裁断、縫製、仕上げを行う技法を習得し、計画に従い能動的に製作を行うことができる能力を身につけている。	定期考査 実技試験 実習の計画表 提出物 リフレクションシート ファッションショーの運営
			ジャケットの製作			○		
			作品の着装と管理		○	○		
3学期	装飾と演出	作品の装飾とファッションショー運営	作品のコーディネート	○	○		a:製作した衣服を用いて他の衣服との組み合わせや小物などを利用したコーディネートを考え、発表会などに意欲的に取り組む態度をもっている。 b:創意工夫した適切な表現方法により、ファッション製品を製作・アレンジすることができる。 c:作品を元に、文化祭に向けて、ショーの構成を考え、音響を編集し、ショーを組み立てていくことができる。	定期考査 実技試験 実習の計画表 提出物 リフレクションシート
			ファッションショーのつくり方		○			
			ファッションショーの運営		○	○		

令和6年度 生活情報科【シラバス】

教科	家庭科	科目	フードデザイン	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	フードデザイン新訂版(実教出版)						
副教材等	LIFEおとなガイド家庭科 資料+グラフ式成分表, ビジュアルクッキング, 家庭科問題集食物編						

1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

・1,2年次のフードデザインでの学びを応用して, 供応食の献立作成から調理までを一人で全てできるようにし, 家庭科調理技術検定1級合格を目指します。
 ・グループで協同して, 多人数分の弁当や食事を企画し, 提供します。

2 学習の到達目標

- (1) 栄養, 食品, 献立, 調理の基礎, 献立作成及び様式別調理, テーブルコーディネート等について体系的・系統的に理解するとともに, 関連する技術を身に付ける。
- (2) 食生活の現状から調理に関する課題を発見し, 食事を総合的にデザインする能力と態度を育て, 調理を通して食生活の充実向上を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- (3) 特殊栄養について理解し, 調理の面から食生活の充実向上を目指して自ら学び, 創造的な調理に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に取り組む態度
観念の趣旨	調理の基礎, 様式別対象別目的別の献立作成に関する知識がある。様式別調理, 大量調理の献立作成と調理に関する技術を身につけている	目的や対象に応じた献立作成ができ, 創意工夫した調理が表現できる	健康の維持, 増進に寄与する食生活の充実向上について関心を持ち, 実習に意欲的に取り組んでいる
評価方法	テスト 食物調理技術検定1級筆記 献立作成, 調理実習, 実技評価	献立作成, ホームプロジェクト, レポート	授業態度, 調理実習ノート, リフレクションシート

上に示す観点に基づいて, 学習のまとまりごとに評価し, 学年末に5段階の評定にまとめます。
 学習内容に応じて, それぞれの観点を適切に配分し, 評価します。

4 学習の活動

学期	内容	単元 題材	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
				a	b	c		
1 学期	栄養と食事計画	調理の基本	食物の摂取と消化吸収	○			a: 栄養の基礎知識があり, 献立作成の意義を理解している。献立作成と栄養計算ができる。 b: 献立作成の課題を発見し解決策を工夫できる。 c: 献立作成について主体的に取り組んでいる。	考査・ワークシート 問題集 調理実習 献立表 食物調理技術検定1級
			栄養素の代謝	○				
			献立作成	○	○	○		
			栄養計算	○				
			調理法の特徴	○				
2 学期	様式別目的別の献立と調理	食の文化・調理の種類と献立	日本料理	○			a: 様式別献立と調理について理解し, 様式別の献立作成と調理並びにテーブルコーディネートができる。 b: 献立作成と調理, テーブルコーディネートにおける課題を発見し解決に向けて創意工夫している。 c: 実習やテーブルコーディネートに主体的に取り組んでいる。	実技テスト(コース料理) 調理実習 献立表 考査 リフレクションシート ホームプロジェクト
			西洋料理	○				
			中国料理	○				
			テーブルコーディネート	○		○		
			供応食の献立作成	○	○			
			行事食と食文化	○				
			ホームプロジェクト	○	○	○		
3 学期	対象別の献立と行事食・供応食	調理の種類と献立	乳幼児の栄養と食事	○			a: 対象別と各国料理並びに行事食の献立と調理について理解し, 献立作成ができる。 b: 対象別と各国料理並びに行事食の献立の課題を発見し考察できる。 c: 対象別と各国料理並びに行事食の献立と食事について主体的に学ぼうとしている。	問題集 調理実習 考査 食物調理技術検定1級
			高齢者の栄養と食事	○				
			病人食の栄養と食事	○	○			
			各国料理と行事食の実際	○	○			
			供応食の意義と特徴	○				
			組織運営と献立作成	○	○	○		
3 学期	供応食調理	調理の種類と献立	供応食調理	○	○	○	a: 供応食調理の意義について理解し, 献立作成と調理ができる。 b: 供応食調理をする際の課題を発見し考察できる。 c: 供応食調理実習に意欲的に取り組んでいる。	献立表 計画表 サンクスランチ, 振り返りレポート, 考査
			供応食調理	○	○	○		
			供応食調理	○	○	○		